



二〇二四年度

中国古典文化講座

中国文化をかたち作るもの

唐代の墓参と供養

講師

江川 式部氏

國學院大學文学部 准教授

会場

立命館大学衣笠キャンパス
立命館孔子学院講義室

(国際平和ミュージアム3階)

※オンラインライブ配信あり

7/27 (土)
13:00~14:30

故人を懐かしみ、そのお墓を訪ね、供養をすることは、時代・地域を問わず行われてきた人々の営みである。中国では、春秋戦国時代にはすでに民間でも墓参が行われていたとみられており、漢代には墓の上に建てられた祠堂に、一族や役人たちを集めて祭祀が行われ、集まった人々に酒食や金帛がふるまわれることもあった。

唐代には、祖先祭祀の場として家廟が建てられるようになる。家廟には祖先の神主（位牌）が安置され、子孫はそこで季節ごとのまつりを行った。その一方で、家族や子孫によって墓所も整備され、関係のあった人々にとって、故人をしのぶ場としての役割をもっていたのである。

本講義では、中国唐代の墓参と供養の諸相をみていきながら、当時の人々の故人に対する心情や営為について、祭祀や制度などの歴史的な視点から考えてみたい。

連絡先

立命館孔子学院（立命館大学 国際平和ミュージアム3階）

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 アカデメイア立命21内
TEL : 075-465-8426 FAX : 075-465-8429 MAIL : koza@st.ritsumeikan.ac.jp
HP : <https://www.ritsumeikan.ac.jp/confucius/>

参加無料
(事前申込制)

↓ 詳細はこちらから ↓

